

平成 30 年度 後期

# 実践女子大学大学院 国文学専攻 研究発表会

平成 30 年

12月1日 **土**

14時00分～16時15分  
(受付開始 13時30分)

会場 渋谷キャンパス 5階・503教室



**影山輝國** (実践女子大学教授)

## 『論語義疏』の魅力

(14:00～15:00)

おうがん  
皇侃によって書かれた『論語』の注釈書である『論語義疏』は中国では亡逸したが、  
日本だけに写本として残り、江戸時代に根本そんし孫志によって出版された。この書を見  
た中国の学者たちは狂喜乱舞して喜んだといわれる。この書の魅力を探り、知  
られざる『論語』解釈を紹介する。

(休憩)



**牧野和夫** (実践女子大学教授)

## 『西国順礼靈驗記』平成 30 年 3 月以降の 蒐集資料一, 二の紹介——廃棄寸前の袋、ほか二点

(15:15～16:15)

『実践国文学』93号では、家蔵する『西国順礼靈驗記』を紹介しました。今回は、そ  
れ以降に、縁(仏縁)あって舞い込んできた『西国順礼靈驗記』関連の資料紹介をさ  
せていただきます。